

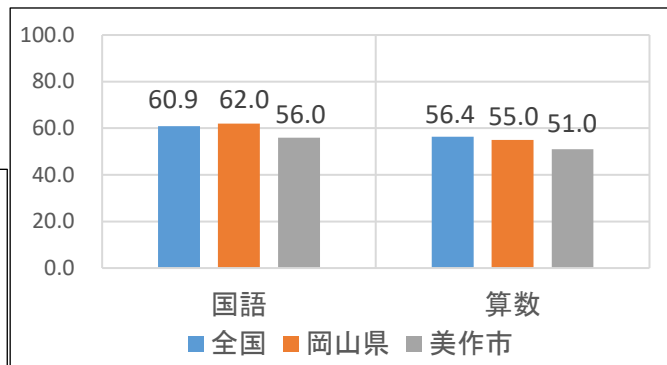
令和8年度全国学力・学習状況調査 小学校版 【美作市 結果・概要】

美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率(小6) 割合(%)

	国語	算数
全国	60.9	56.4
岡山県	62.0	55.0
美作市	56.0	51.0

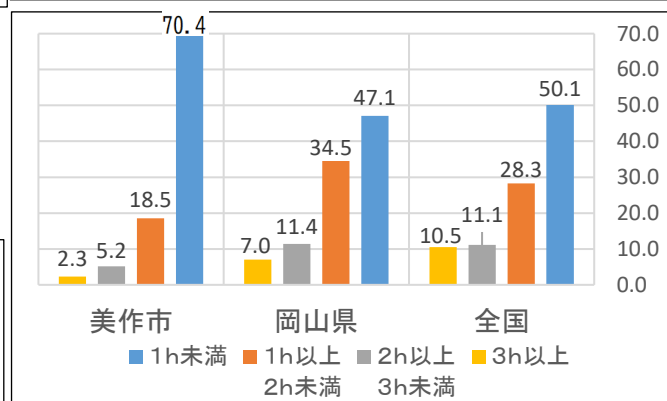
○国語、算数ともに全国平均を5p以上下回ったが、昨年度(5年生時)と比較すると、その差は縮まっている。
 [国語]「読むこと」【思考力・判断力・表現力】において課題が見られた。
 [算数]「図形」「変化と関係」「データの活用」領域において、特に課題が見られた。



○平日の家庭学習時間(小6) 割合(%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	50.1	28.3	11.1	10.5
岡山県	47.1	34.5	11.4	7.0
美作市	74.0	18.5	5.2	2.3

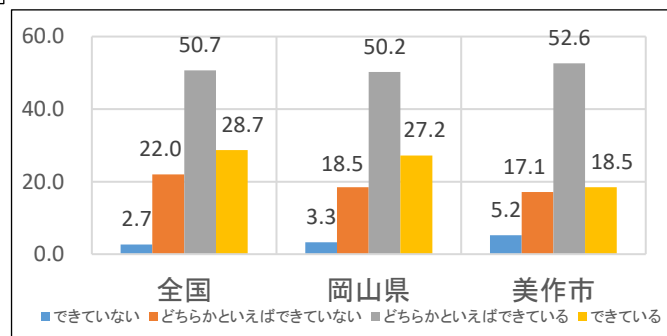
・昨年度の同一学年と比較すると、家庭学習の時間は減少傾向である。ただし、家庭学習時間と正答率の相関性は見られない。
 ・家庭学習と授業の連動をすすめるとともに、家庭学習における学習の個別最適化による基礎・基本の定着を図る。



○学び方を自分で考え工夫する(小6) 割合(%)

	できていない	どちらかといえはできていない	どちらかといえはできている	できている	肯定的回答
全国	2.7	22.0	50.7	28.7	79.4
岡山県	3.3	18.5	50.2	27.2	77.4
美作市	5.2	17.1	52.6	18.5	71.1

・肯定的な回答は全国、県平均を大きく下回っている。
 ・児童が「学び方」を身に付けられるような授業改善により、自律的な学びの促進を図る。



(全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題及び改善のポイント)

[国語]

- ◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開を考える問題が全国平均を上回った。(+3.4p)
 →「読むこと」において「書くこと」と関連付けて【内容と構造の把握】の指導を行った成果。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において、自分の考えをまとめたり工夫して伝えたりすることに課題がある。
 →「単元全体を通した必然性のある言語活動」の設定を工夫するとともに、【精査・解釈】【考えの形成】に重点をおいた指導を継続する。

[算数]

- ◎「数と計算」領域において、単位分数の個数に着目し数直線上の1を表すメモリを捉える問題が全国平均を上回った。(+3.0p)
 →経年的な課題に対する対策の成果。
- 【知識・技能】では、「割合」の基準量・比較量・割合の関係を捉えることに課題がある。
- 【思考・判断・表現】では、図・式(数)・言葉を用いて説明することに課題がある。
 →授業では、式・言葉・図を関連付けて言語化する活動を充実させるとともに、統合的な見方を促す。

[学ぶ力]

- 授業や家庭学習において、児童が自ら「学び方」を選択・決定したり、自己調整したりする場面を設定する。また、「教科の見方・考え方」を重視した授業改善を図るとともに、その「見方・考え方」を活用できる「探究的な学習」を積極的に取り入れる。
- 家庭学習について、1人1台端末を活用した基礎・基本の学び直し、授業と家庭学習の連動による自律的な学びの促進など、目的の明確化、取組の焦点化が必要である。

[その他]

- 「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校に行くのは楽しい」の質問項目で、肯定的な回答が全国平均を下回っている。
 →教育活動全般において「自己選択」「自己決定」できる場面を設定し、過程を認める言葉かけや価値づけの工夫を行う。家庭や地域と連携し、児童が学校の内外で活躍できる機会を提供する。